



武蔵村山市立第一小学校

学校だより

令和5年4月28日



少し早いですが、水泳指導について

校長 押本 純樹

桜咲く入学式とはならず、3月の卒業式には満開でした。順番関係なく、ハナミズキ、フジ、ツツジもいつにない暖かさに誘われて、4月にいっぺんに咲きました。今は過ごしやすい気候ですが、この先暑さがどうなるのか心配があります。

水泳指導において、本校では「暑いから水に入る。」の姿勢でこれまで取り組んできました。もちろん現状を考え、プールサイドに水筒を置くなど、基本的な熱中症対策を取った上でのことです。より厳しく暑くても水泳指導を中止している学校があるというなか、目の前の子供たちは、暑い日にプールに入れることを心待ちにしては、真夏の太陽の下で楽しそうに泳いでいました。これまでこの方針に対して保護者の方から、御意見をいただくことはありませんでした。夏休みの水泳指導では、受付時間になると、学童からプールバッグを持った子供たちが我先にとビーチサンダルで走ってきていました。

時季になると、保護者や地域の方に「熱中症防止のため、水泳指導をやめている学校がありますが、うちは暑いから入れています。」と伝えても、まずは賛同していただけました。学校運営協議会で話題にしたときも、その方針を協議委員の皆様は積極的に後押しをしてくれました。

しかし、今年度の教育課程編成に伴い、次のような通達が市教委からありました。

(1) 炎天下での指導は学習効果が低下するだけでなく、熱中症の危険性が高まると考えられている。特に低学年や初心者に関しては、それが顕著である。そのため、市では、夏季水泳指導は実施しない。

(2) 水泳指導は7月20日までで指導時間は6時間程度とする。※(1)(2)共に要約
昨今の異常気象は想像以上です。これを受け、夏休みの水泳指導は中止とし、これまでの水泳検定表はなくします。検定は一人一人の泳力を細かく見定めるために時間がかかり、6時間程度と決められた枠内では、効果的な取組ではないと判断しました。プールサイドでの待ち時間も多くなり、それこそ熱中症の心配が高まります。別の指導目標を立てます。

それでも夏と言ったらプールです。体育の授業における水泳指導の時間がなくなったわけではありません。今年度は、あまりの猛暑の際は実施を見合わせますが、若干の融通を利かせつつ、暑い日にも水泳指導を行っていきたいと思っています。御理解、御協力をお願いいたします。



今から暑さに慣れよう

(詳細は後日配布予定「水泳指導のお知らせ」参照)